

一般質問通告書

平成23年9月定例会

1番 山田伸幸 議員

- 1 介護保険制度改定に対する市の対応について
 - (1) 要支援者へのサービスについて
 - (2) 介護者支援について
 - (3) 保険料の設定と減免制度について
- 2 市民病院建てかえについて
 - (1) 広く市民の意見を聞く考えについて
 - (2) 防災への考え方について
- 3 防災計画の見直しについて
 - (1) 防災マップの見直しについて
 - (2) 公共施設の避難所としての機能について
- 4 中小企業振興について
 - (1) 住宅リフォーム助成制度について
 - (2) 太陽光発電とエコ住宅への独自助成について
 - (3) 公契約条例のその後の検討について

2番 伊藤 實 議員

- 1 少子高齢化対策について
 - (1) 具体的な高齢者対応策は
 - (2) 具体的な若者定住策は
- 2 公会堂、自治会館について
 - (1) 補助金規定について
- 3 当市の今後の資金繰りについて
 - (1) 歳入、歳出の見通しについて
- 4 小学校の英語授業について
 - (1) 現状と課題について

3番 硯谷 篤史 議員

- 1 新市民病院建設に当たって
 - (1) 市民合意の形成が不十分である。

- (2) 新病院建設構想検討委員会のあり方について問う。
- (3) 地域包括医療ケアシステムを構築すべきだが、病院が中心となつてすすめる意志はあるか。
- (4) 医師30人の確保を前提に計画されているが、その確証はあるのか。また責任はだれが持つのか。

2 協働のまちづくり推進に当たって

- (1) 自治基本条例では「市民の責務」とあるが、市民にそのようなことを課すことができるのか。

4番 平原廉清 議員

1 企業誘致について

23年3月定例会の一般質問で、小野田・楠企業団地について、私が提案した次の事項の進捗状況を尋ねる。

- (1) 分譲価格の見直し
- (2) 不動産仲介業者へ委託する。委託手数料についても再考する。
- (3) 商工会議所なども含めた販売のプロジェクトを立ち上げる。
- (4) 姉妹都市へも当団地をPRする。
- (5) 一括売却か分割売却か方針は決まったか。

2 小野田・楠や東沖などのHPでの広告について

市のHPでの扱いが小さ過ぎる。なぜ、ドカーンと目立たせないのか。

3 小野田・楠の売却について

いつまでに売却するという目標年度の設定はなされているのか。

4 防災（地震）対策について

平成20年制定の耐震改修促進計画によれば、当市の耐震性がないとされる木造住宅は、木造住宅の62.8%、非木造住宅の27.5%、合計すると当市住宅24,840戸の約半分、12,850戸と推計されているが、

- (1) 現時点で住宅の耐震化の進捗状況をいくらか推計しているか。
- (2) 平成27年度までに住宅の耐震化率を90%という目標が掲げられているが、これを達成する具体策が考えてあるのか。

5 平成20年6月の耐震改修促進計画のパブコメについて

耐震改修の制度融資をつくる提案に対し、「今後の検討課題とする」と回答しているが、実際に検討してあるか。

6 耐震改修の市民への啓発について

市民への啓発の程度が弱いと思う。利用可能な補助制度を含めて、もっと強力に啓発すべきであると思うが、考えを聞く。

5番 高松 秀樹 議員

1 学校給食について

過去、一般質問で給食食器の変更や完全米飯給食の推進について取り上げたが進捗状況はどうか。また、学校給食共同調理場事業の必要性、予算規模と財源及び今後のスケジュールについて伺う。

2 震災瓦れきの受け入れについて

震災瓦れきの受け入れに手を挙げていると一部週刊誌に取り上げられているが事実かどうかお聞きしたい。

3 新ごみ処理施設建設について

建設に至るスケジュールはどのようになっているのか。また、公設公営や公設民営など施設の建設・管理運営等はさまざまな手法が考えられるがどのようにお考えか。

6番 衛藤 弘光 議員

1 事務事業評価制度について

- (1) 目的は何か。
- (2) 毎年評価しているのか。
- (3) 取り組みについて職員全員に教育しているのか。

2 新ごみ焼却場の建設について

- (1) 現在の状況で合併特例債使用期限の平成27年3月末までできるのか。
- (2) 下水処理の汚泥を一般ごみと混焼する計画ですが、現在の年間処理費用はいくらか。
- (3) 焼却で発生する排熱利用について
- (4) 環境審議会の検討結果について
- (5) 施設運営方式について（従来方式とPFI方式のDBOについて）

7番 下瀬 俊夫 議員

1 コミュニティFM開設の見通しについて問う。

- (1) アナログ波停止による空き周波数帯を利用したコミュニティFM開設の見通しと行政支援について
- (2) 行政情報、地域情報を発信できるだけでなく、災害時の耳からの災害情報の優位性は山陽有線放送が立証済み。
- (3) 当市にはコミュニティFM開設に必要な人材とノウハウが既にあり、市民も待ち望んでいる。

2 7.15厚狭川水害の復旧は住民合意で

- (1) 厚狭川鴨橋周辺の災害復旧により、立ち退きを迫られる住民にとって

は「第2の洪水」に見舞われるようなもの。生活基盤を失う住民の合意形成に市も努力すべきだ。

(2) 激特事業から除外された、沓山田、松ヶ瀬周辺の越流など水害対策は今後どのように進めていくのか。

3 入札のあり方について問う。

(1) 新病院基本設計の指名競争入札について

(2) 学校耐震化工事にかかわる入札のあり方について

8番 吉永美子 議員

1 安心・安全なまちづくりについて

(1) 防災について

ア 自主防災組織の連携について、進捗状況を聞く。

イ 災害時要援護者支援について、取り組み状況を聞く。

ウ 東日本大震災の被害を踏まえて、7月に文部科学省が緊急提言を発表したが、それを受けて、今後、学校施設の防災機能の向上にどう取り組むか聞く。

エ 児童・生徒の防災教育について、取り組み状況を聞く。

(2) 救急救命について

ア ひとり暮らしの高齢者などに対して、医療情報キットの配布を提案する。

イ AED設置施設における救命講習の状況について聞く。

ウ 小中学校におけるAED講習の推進について、考えを聞く。

(3) 防犯について

防犯メール配信の実施について、考えを聞く。

2 動物愛護について

(1) 犬猫への避妊・去勢費用の助成について、検討状況を聞く。

(2) 「ワンニャンバンク」の検討状況を聞く。

9番 尾山信義 議員

1 高千帆排水機場の基幹改良について

(1) 高千帆排水機場の沿革及び平成20年改修内容について問う。

(2) 毎年のように日の出、新生町、高泊地区が冠水している現状をどうとらえ、どのような対応を考えているのか。

(3) 県・市土地改良区等関係機関との定期的な協議などを実施しているか。

(4) 都市型排水処理システム等について協議検討などされているか。

2 総合窓口設置促進のための再任用制度確立について

- (1) 萩市が市民総合窓口（ワンストップサービス）を本年7月19日に開設したが、以前要望した総合窓口設置の対応はどのように検討され、進捗状況はどうなっているか。
 - (2) 本市で行政経験を積んでこられた有能な退職職員を再任用制度の確立により、ワンストップサービスの向上にその豊富な行政経験を活用するなど、独自の市民サービスの向上を図れないか。
 - (3) 本市の特色・魅力など外へ発信できる強みはどのようなものがあると考えているか。
- 3 公立保育園・幼稚園の計画的建てかえについて
- (1) 合併後の施設老朽化対策が保育園等について、確立された計画が立てられているのか。
 - (2) エアコンの設置について状況はどうなっているか。
 - (3) 市として幼・保一元化について基本的にどのように考えているか。
- 4 市道新生町下木屋線の今後の計画について
- (1) 市道新生町下木屋線の将来構想をどのように考えているか。
 - (2) 管理道開設の際の地域住民に行った説明会では、将来構想として県道小野田美東線との接続、及びおおむね10年以内にはこの地域の農業振興地域除外を行っていききたいと説明されたと聞くが、どうなっているか。
- 5 水道事業の展開について
- (1) 大容量配水池の建設計画の進捗状況を問う。
 - (2) 災害対策への対応状況は、どのように進んでいるか。
 - (3) 総合計画を推進するには財源が必要となるが、水道料金の値上げは考えているか。
 - (4) 上水道料金と下水道使用料の徴収一元化の問題点等を問う。

10番 矢田松夫 議員

- 1 美祢線復旧後の対策について
 - (1) 利用者協議会の現状はどうか。
 - (2) 公共交通路線としての復興対策はできないか。
- 2 厚狭川新「橋」の工事再開について
 - (1) 新橋の名称を募集する企画はないか。
 - (2) 新「橋」のイメージ図を掲載（掲示）することについて。
 - (3) 通学道路の安全対策について
- 3 各種イベントと職員のかかわりについて
 - (1) 職員がかかわっている現状について
 - (2) 職員が人的支援する必要があるか。

1 1 番 岩 本 信 子 議員

1 学校給食について

- (1) 米飯給食について
- (2) 給食食器の改善について
- (3) 市内産の食材使用向上について
- (4) 学校給食の安全・安心の改善について
- (5) 「生きた教材」としての給食について
- (6) 「食べる＝育てる」ことについて
- (7) 過去に給食問題があったが、その認識について
- (8) 合併特例債事業に共同調理場建設が浮上した経緯について

1 2 番 中 島 好 人 議員

1 国民健康保険事業について

- (1) 国保料の引き下げについて
 - ア 国庫負担増への働きかけ
 - イ 一般財源からの繰り入れ
 - ウ ジェネリック医薬品の促進
- (2) 減免制度の充実
- (3) 滞納者への対応について

2 生活保護行政について

- (1) 窓口での対応について
- (2) ケースワーカーの受給者対応について
- (3) 冷暖房設備の福祉資金活用について

3 学校給食について

- (1) 共同調理場方式をやめ、現行の自校方式、親子方式を守り内容を充実させていくこと。

4 若者定住と子育て支援について

- (1) 兵庫県相生市のように「子育て応援都市宣言」を掲げ、積極的に子育て支援を行い若者定住を図ること。

1 3 番 河 野 朋 子 議員

1 新病院建設について

- (1) 進捗状況について
 - ア 基本構想と基本計画の違い
 - イ 建設場所について市民の不安解消について

- (2) 市民との情報の共有について
 - ア 建設決定の判断をした資料について
 - イ 情報公開条例の解釈について

14番 伊藤 武 議員

- 1 病院関連について
 - (1) 新病院建設場所の再々検討は
 - (2) 新病院の医療方針は
- 2 行政格差解消について
 - (1) 山陽地区の全小学校区に福祉会館を
 - (2) 山陽地区の全小学校区に屋内体育館を
- 3 安心安全な連絡網について
 - (1) 防災無線を取り入れた防府市の状況は
 - (2) 防災ラジオの状況は
 - (3) 定例放送の運用は
- 4 ホームページについて
 - (1) ライフインデックスについて

15番 石田 清 廉 議員

- 1 総合計画に関連する市財政状況の推移について問う（平成20～29年度）。
 - (1) 財政健全化への取り組みについて
 - ア 歳入の確保への取り組みは
 - イ 歳出の削減への取り組みは
 - ウ 主な財政指標の見直しはあるのか。
 - エ 今後の財政運営における課題は
 - (2) 計画期間内における財源不足額の解消策は
 - ア 歳入に関連する対策は
 - イ 歳出に関連する対策は
- 2 新集中改革プラン策定について問う。
 - (1) 行政組織運営全般について、計画策定（P l a n）実施（D o）検証（C h e c k）見直し（A c t i o n）のサイクルに基づき不断の点検を行いつつ新たな行政改革大綱の策定または従来の行政改革大綱の見直しをすることとあるが本市の取り組みはどうか。
 - (2) 集中改革プランの公表を平成22年度中に取り組みを住民にわかりやすく明示することとあるが実施されているのか。

(3) 説明責任の確保として集中改革プランの見直しまたは策定に当たってはP D C Aサイクルの各過程において住民等の意見を反映するような仕組みを整えることとあるがどのようにされているのか。